

# 国語の学習の仕方

## 【なぜ国語を学習するのか】

国語の学習は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の、総合的な学習です。人は本来、さまざまな人同士のつながりの中で生きています。国語の力はそのつながりをより良いものにしていくためにとても大切な学習です。相手の言ったことをもっとしっかり「聞く」ことができたなら、その人のことがもっと理解できたのに…。相手にもっとわかりやすく「話す」ことができたなら、もっと自分のことがわかってもらえたのに…。これからの人生のさまざまな場面で、この『もっと、うまく』読めたら、書けたら、聞けたら、話せたら…。と思う時がたくさんでてくるはずです。国語の授業は、人と人とがより深くより強く理解しあうためにとても大切な教科です。自然や人間の姿を描いた小説や詩をたくさん読んで心を豊かにして下さい。自分の本当の気持ちをしっかり伝えるための文章をたくさん書いて下さい。それが国語の授業なのです。

### 1 授業の受け方

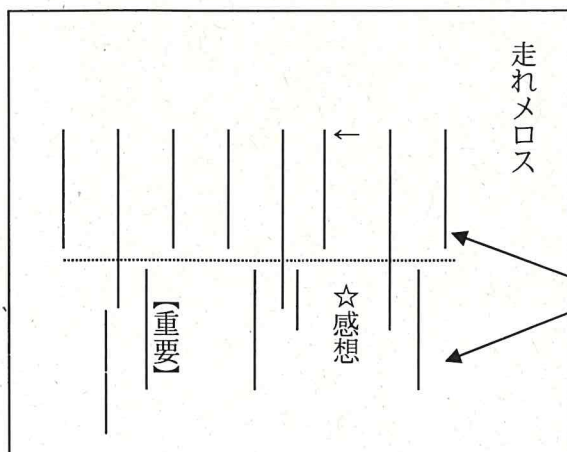
- (1) 授業中はまず、その時間の内容や目標をしっかり理解しましょう。
- (2) 先生の話をしっかり聞きましょう。また、友達の発表、本読みなどもしっかり聞きましょう。
- (3) ノートなどはきっちりと先生の指示に従って取るようにしましょう。
- (4) 「読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと」は生活していく上でとても大切なことです。中学校の国語では、それをさらに深めていき、自分のものにすることが目標だといえるでしょう。また、他の教科の基本にもなる教科ともいえるでしょう。

### 2 ノートの効果的な取り方

ノートは学校と家庭での自学自習をつなぐ、自分のための連絡帳のようなものです。授業で先生が黒板に書かれたことや話されたことを自分のノートに書き取り、そこに自分の感じたこと、気づいたことも書き加えて、黒板に書かれたことのみをただ、写してあるノートではない「自分だけのノート」を作っておきましょう。



#### 《ノート例》



#### ※ノートを開いた図

- ① 大学ノートをたてにして使う。(ルーズリーフは避けること)
- ② ノートは余白をたっぷり取り、見直す時に読みやすいようにしておく。
- ③ 板書をノートに写す色使いも工夫しよう。
- ④ 黒板には書いていないけど、大事なこと、重要語句・意味調べ・その他気づいたことなどをノートの下側を使って記入しておくといい。

### 3 日常的な家庭学習の仕方

- (1) 教科書に出てくる語句の意味や漢字の読み、書き方などを覚える。  
(特に意味を辞書で調べることは重要)
- (2) 新聞や雑誌や漫画の広告、看板にある言葉の意味を日常生活の中で調べてみることも実力アップにつながります。
- (3) 作文の不得意な人は小説や雑誌などの気に入った文章を書き留め、文章を書くときにまねしてみると、見違えるような素晴らしい文章が書けるようになります。
- (4) 問題を解いて、テストの形になれる。  
(インターネットなどにもたくさん問題があります。)

### 4 試験前の学習の仕方

- (1) 新出漢字などの練習。
- (2) テスト範囲の教科書の内容をよく読む。(接続詞や段落ごとの意味の違いなどに注意して)
- (3) テスト範囲のノートの内容をしっかりと読む。覚えなければならないところは、何回も紙に書きながら覚えるとよい。(紙に書きながら覚えるときは、1日で一気にやってしまうのではなく、何日かに分けて同じことをやるのが大切)
- (4) 試験前の授業は復習も多いので、特に注意して受ける。(ノートを使って先生の言われたことのメモをとるとよい)

### 5 さらに進んだ学習のために

- (1) 国語の学力アップのためには読書が一番。新聞なども読んでみよう。  
(特にコラムを読むと実力がつきます)
- (2) 問題集などにもチャレンジしてみよう。
- (3) 日記を毎日つけてみよう。(その日の出来事、自分の思ったこと、感じたこと友達のことなどを日々書きとめていく)
- (4) 自分の意見を人にうまく伝える工夫をしてみよう。
- (5) 詩や自分流の小説などの創作活動に取り組んでみよう。  
(新聞や雑誌など投稿・応募するのもよい)
- (6) 名文を暗唱してみよう。(古典作品の冒頭部など)